

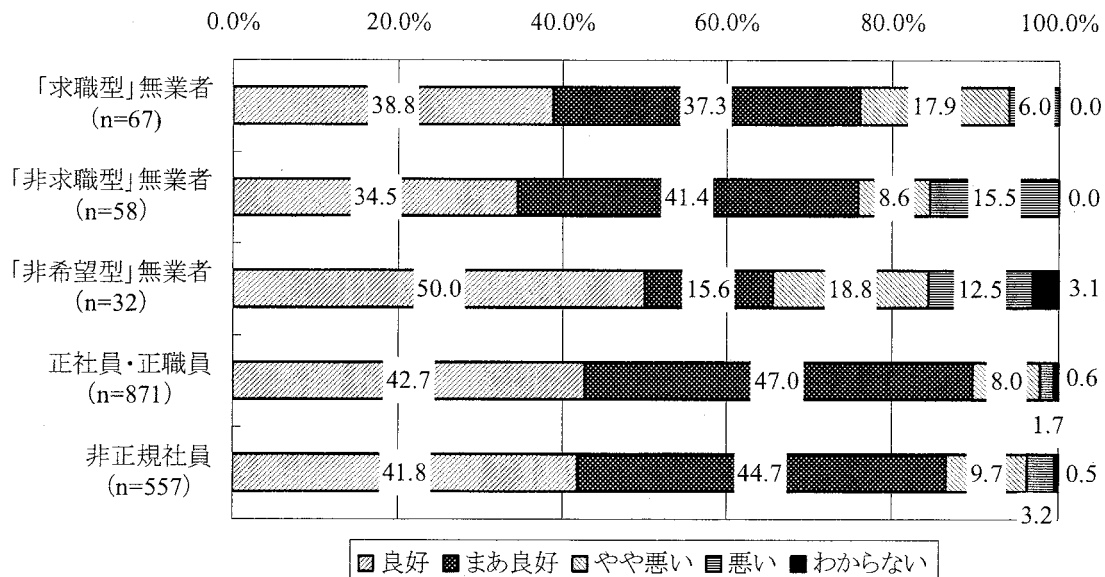
表3-2-3 類型別 起床時間・就寝時間

	合計	起きる時間						寝る時間					
		1:00~ 3:59	4:00~ 6:59	7:00~ 9:59	10:00~ 12:59	13:00以 降	不明	20:00~ 21:59	22:00~ 23:59	24:00~ 1:59	2:00~ 3:59	4:00以 降	不明
類型計	1,585	6	498	906	97	25	53	19	396	907	183	30	50
	100.0	0.4	31.4	57.2	6.1	1.6	3.3	1.2	25.0	57.2	11.5	1.9	3.2
「求職型」無業者	67	0	3	42	17	1	4	1	13	29	20	0	4
	100.0	0.0	4.5	62.7	25.4	1.5	6.0	1.5	19.4	43.3	29.9	0.0	6.0
「非求職型」無業者	58	0	5	37	13	2	1	0	10	32	15	1	0
	100.0	0.0	8.6	63.8	22.4	3.4	1.7	0.0	17.2	55.2	25.9	1.7	0.0
「非希望型」無業者	32	0	3	19	6	0	4	2	6	13	7	0	4
	100.0	0.0	9.4	59.4	18.8	0.0	12.5	6.3	18.8	40.6	21.9	0.0	12.5
正社員・正職員	871	2	344	485	11	5	24	9	232	549	49	6	26
	100.0	0.2	39.5	55.7	1.3	0.6	2.8	1.0	26.6	63.0	5.6	0.7	3.0
非正規社員	557	4	143	323	50	17	20	7	135	284	92	23	16
	100.0	0.7	25.7	58.0	9.0	3.1	3.6	1.3	24.2	51.0	16.5	4.1	2.9

(4) 健康を害している者が2~3割

各類型のこの1年間の健康状態（青少年Q62）を見ると、有職者では、「良好」と「まあ良好」の合計が9割近くに上るのに対し、無業者では、「やや悪い」と「悪い」の合計が2~3割となっていた（図3-2-2）。

図3-2-2 類型別 この1年間の健康状態



3 対人関係

ここでは、友人の状況、人間関係に対する考え方、携帯やメールの利用、コミュニケーションスキルの面から各類型の対人関係の実態を見た。

(1) 「非希望型」は小学校時代以前からの友人が少なく友人いないも一定数

各類型のふだん一緒に遊んだり連絡することが多い友人（青少年 Q11）を見ると、無業者も有職者も学校関連の友人をあげる割合が高い。学校関連以外を見ると、無業者では「趣味をともにする友人」、有職者では「就職した職場の友人」をあげる割合が高くなっている。なお、「非希望型」無業者は、「小学校時代やそれ以前からの友人（9.4%）」をあげる者が少ないこと、また「普段一緒に遊んだり連絡する友人はいない（12.5%）」とする割合が他の類型よりも高いことが特徴的である（表3-2-4）。

表3-2-4 類型別 ふだん一緒に遊んだり連絡することが多い友人

	合計	小学校前時代やそれ	中学校時代から	高校時代からの	大学・短大・専	アルバイト先の	就職した職場の	趣味をともにする友人	インターネットで知り	町や遊び場での知	その他の友人	普段一緒に遊んだり連絡する友人	不明
類型計	1,585 100.0	305 19.2	473 29.8	718 45.3	375 23.7	131 8.3	445 28.1	168 10.6	25 1.6	31 2.0	15 0.9	29 1.8	79 5.0
「求職型」無業者	67 100.0	21 31.3	31 46.3	25 37.3	5 7.5	7 10.4	8 11.9	13 19.4	1 1.5	1 1.5	0 0.0	2 3.0	1 1.5
「非求職型」無業者	58 100.0	17 29.3	21 36.2	24 41.4	11 19.0	2 3.4	3 5.2	7 12.1	3 5.2	2 3.4	2 3.4	5 8.6	1 1.7
「非希望型」無業者	32 100.0	3 9.4	11 34.4	14 43.8	4 12.5	1 3.1	2 6.3	5 15.6	2 6.3	0 0.0	1 3.1	4 12.5	0 0.0
正社員・正職員	871 100.0	148 17.0	229 26.3	406 46.6	258 29.6	32 3.7	318 36.5	84 9.6	6 0.7	11 1.3	6 0.7	9 1.0	50 5.7
非正規社員	557 100.0	116 20.8	181 32.5	249 44.7	97 17.4	89 16.0	114 20.5	59 10.6	13 2.3	17 3.1	6 1.1	9 1.6	27 4.8

(2) 「非求職型」と「非希望型」は身近な人間関係の重要性の認識が低い

各類型で、今のあなたにあてはまるものとして「身近な人間関係を大切にしている」（青少年 Q54.1）に○を付けた割合を見ると、「求職型」無業者（85.1%）＞正社員・正職員（84.2%）＞非正規社員（81.9%）＞「非求職型」無業者（63.8%）＞「非希望型」無業者（56.3%）となり、「非求職型」及び「非希望型」無業者では、過半数を超えるものの他の類型よりも低い割合にとどまっていた（図3-2-3）。

図3-2-3 類型別 「身近な人間関係を大切にしている」割合

